



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 新日本理化学株式会社
コード番号 4406 URL <http://www.ni-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

(氏名) 藤本 万太郎
(氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	21,147	△7.3	51	—	131	1.7	31	△25.4
27年3月期第3四半期	22,804	0.2	△89	—	129	△68.4	41	△85.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 △361百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 998百万円 (△7.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.83	—
27年3月期第3四半期	1.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	36,397		14,742		38.3		374.22	
27年3月期	36,024		15,114		39.8		384.51	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 13,953百万円 27年3月期 14,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,800	△4.9	50	△56.1	110	△61.5	△30	—	△0.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	38,008,906 株	27年3月期	38,008,906 株
28年3月期3Q	721,006 株	27年3月期	720,379 株
28年3月期3Q	37,288,293 株	27年3月期3Q	37,288,862 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用情勢や大手企業を中心とする企業業績の改善がみられたものの、個人消費や設備投資の持ち直しの動きは依然として鈍く、景気回復は足踏みの状況が続きました。また、世界経済においては、米国で堅調な雇用を背景に、個人消費が底堅く推移するなど、景気拡大が続く一方、中国や資源国における景気減速が各国経済へ与える影響が懸念されるなど、先行きには不安材料もみられました。

当社グループを取り巻く環境は、主要販売先である住宅関連業界において輸入品の流入が続いているほか、中国を含む新興国経済の落ち込みが製品価格低迷をもたらし、円安メリットが相殺されるなど、厳しい状況が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、211億4千7百万円（前年同四半期比7.3%減）となり、損益面では、営業利益5千1百万円（前年同四半期は8千9百万円の営業損失）、経常利益1億3千1百万円（前年同四半期比1.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3千1百万円（前年同四半期比25.4%減）を計上する結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

化学製品セグメント

オレオケミカル製品は、合成樹脂向け脂肪酸や洗剤向けアルコール、界面活性剤の需要低迷により、油脂製品・アルコール製品ともに売上高が減少しました。

可塑剤は、住宅関連資材向けの販売ははまだ本格的な回復には至っておらず、加えて原油安に伴う製品価格下落により、売上高は前年を大きく下回りました。

機能性化学品は、新規開発品である特殊油剤の需要が伸びたほか、医薬中間体の事業化が進展、水素化製品の販売も好調に推移しました。

樹脂原料製品は、自動車用途の需要が堅調に推移したほか、競合する輸入品からのシェア奪回に取り組んだ結果、国内の販売数量は増加したものの、製品価格低迷により売上高は伸び悩みました。一方、輸出では、中国をはじめとする新興国の景気減速による市況悪化の影響を受け、前年の売上高を下回りました。

樹脂添加剤は、国内での需要増加により売上を伸ばしたほか、輸出においても新製品の販売が好調に推移したため、販売数量・売上高ともに前年より増加しました。

以上の結果、化学製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は191億7千2百万円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント利益は3千3百万円（前年同四半期は9千6百万円のセグメント損失）となりました。

その他セグメント

その他セグメントにおきましては、業務用・車両用洗剤の分野で拡販が進み、前年を大きく上回りました。一方、商社部門では、住宅関連およびトイレタリー用途の需要が回復しないほか、可塑剤の販売も落ち込み、前年を下回る結果となりました。

以上の結果、その他セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は19億7千4百万円（前年同四半期比8.3%減）、セグメント利益は1千7百万円（前年同四半期比126.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前期末比1.0%増、金額で3億7千2百万円増加し363億9千7百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金、棚卸資産が増加したことなどにより前期末比6.9%増、金額で11億6千8百万円増加の181億8千8百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が減少したことなどにより前期末比4.2%減、金額で7億9千5百万円減少の182億8百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したものの、短期借入金が減少したことなどにより前期末比1.6%減、金額で1億8千1百万円減少の112億1千1百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金が増加したことなどにより前期末比9.7%増、金額で9億2千6百万円増加の104億4千3百万円となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、前期末比2.5%減、金額で3億7千2百万円減少の147億4千2百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は38.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月13日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767	2,531
受取手形及び売掛金	10,179	10,249
商品及び製品	2,261	2,496
仕掛品	1,731	1,328
原材料及び貯蔵品	792	1,179
その他	290	406
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	17,020	18,188
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,454	3,454
その他(純額)	5,688	5,255
有形固定資産合計	9,142	8,709
無形固定資産		
	43	33
投資その他の資産		
投資有価証券	9,254	8,845
その他	565	627
貸倒引当金	△1	△7
投資その他の資産合計	9,818	9,465
固定資産合計	19,004	18,208
資産合計	36,024	36,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,367	5,480
短期借入金	3,331	2,465
1年内償還予定の社債	37	41
1年内返済予定の長期借入金	2,310	1,975
未払法人税等	34	45
賞与引当金	193	62
その他	1,118	1,141
流動負債合計	11,393	11,211
固定負債		
社債	239	211
長期借入金	5,455	6,422
役員退職慰労引当金	41	45
退職給付に係る負債	1,841	1,808
その他	1,939	1,955
固定負債合計	9,516	10,443
負債合計	20,909	21,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	2,338	2,369
自己株式	△170	△170
株主資本合計	12,075	12,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,313	2,352
為替換算調整勘定	△29	△488
退職給付に係る調整累計額	△21	△16
その他の包括利益累計額合計	2,262	1,847
非支配株主持分	777	788
純資産合計	15,114	14,742
負債純資産合計	36,024	36,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	22,804	21,147
売上原価	19,702	17,892
売上総利益	3,102	3,254
販売費及び一般管理費	3,192	3,203
営業利益又は営業損失(△)	△89	51
営業外収益		
受取配当金	105	120
負ののれん償却額	82	-
持分法による投資利益	41	28
その他	89	34
営業外収益合計	319	184
営業外費用		
支払利息	88	77
その他	11	26
営業外費用合計	100	104
経常利益	129	131
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	16	1
特別利益合計	16	1
特別損失		
固定資産売却損	6	-
固定資産除却損	9	9
投資有価証券評価損	6	-
特別損失合計	22	9
税金等調整前四半期純利益	123	124
法人税、住民税及び事業税	33	58
法人税等調整額	22	12
法人税等合計	55	71
四半期純利益	67	53
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	31

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	67	53
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	795	39
為替換算調整勘定	9	△3
退職給付に係る調整額	22	5
持分法適用会社に対する持分相当額	103	△455
その他の包括利益合計	930	△414
四半期包括利益	998	△361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	972	△383
非支配株主に係る四半期包括利益	26	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	20,652	2,152	22,804	—	22,804
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,417	202	1,619	△1,619	—
計	22,069	2,354	24,424	△1,619	22,804
セグメント利益又は 損失(△)	△96	7	△88	△1	△89

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	19,172	1,974	21,147	—	21,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,280	181	1,461	△1,461	—
計	20,452	2,156	22,609	△1,461	21,147
セグメント利益	33	17	50	0	51

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。